

目 次

□巻頭言 規模の問題……………最上 武雄 / 1
建設機械施工法の夢…………… / 3

思いつき二題(伊藤康夫) / 新しい建設機械の夢(小竹秀雄) /
建設公害の除去のために(青藤二郎) / 海の作業と海洋機器に思う
(新藤節治) / 建設機械のレジャー(田中康之) / 除雪を考えて
(酒井 孝) / 面工事の機械化の夢(西出定雄) / 省エネルギー国
際間交通の夢(合田昌満) / 海洋開発への夢三題(奥出 律) / K
氏と H 氏の会話(星野鐘雄) / 連続沈埋管工法(桂木定夫) / 新
型新機種を紹介二題(宮田 誠) / 21 世紀の繁栄のために(鈴木
貫太郎) / レーザーによるコンクリート構造物とりこわし工法の開
発を(大宮武男) / 全天候型工法(塚原重美) / 中東改造要領(鈴
木満明) / SF 的建設機械の発想(高橋九郎) / 将来の建設機械の
夢(加藤登夫) / 私の東京改造論(兼子 功) / 海の施工機械の夢
(大塚 堅) / 雨天でも平気でできる土工工事(寺沢研顕) / 砂漠
の道路建設に思う(鈴木康一) / 夢の話二題(福来 治) / 夢の建
設機械(中尾秀也) / これからの建設の機械化(三浦満雄) / プレ
ハブ工法への期待(林 茂樹)

苫小牧東部工業基地開発計画……………高 橋 陽 一 / 42
□随 想 人間生態の様々……………松 岡 武 / 48
ブルドーザの居住性改善の動向……………手塚 巖 / 51
建設機械の視野に関する一実験……………角 谷 山 博 / 55
油圧ショベルのレバー配置に関する一考察……………本 田 宜 史 / 60
昭和 51 年度建設機械展示会見聞記…………… / 65

グラビヤ—昭和 51 年度建設機械展示会

昭和 51 年度建設機械と施工法シンポジウム…………… / 71
□統 計
建設工事費デフレクタ・建設工事施工・機械生産……調 査 部 会 / 79
理事会の開催…………… / 80
行事一覧…………… / 80
編集後記……………(田中・鈴木満・兼子) / 82

◀表紙写真説明▶

KATO HD-1200 G

全油圧式ショベル

株式会社 加藤製作所

現代の土木建設工事は大型化とスピード化の傾向にあり、これに伴う建設機械も大型の上生産性の高いものが要求されるようになってきた。本機はこれらの要請に対処するため加藤製作所が開発したもので、次のような特徴と仕様を有する。

① 大幅な作業性能のアップに加え、優れた居住性、取扱いやす、操作性、頑丈な構造を有し、特に騒音対策を取り入れた最新の設計である。

② バケット容量 1.2m³、エンジン出力 150 PS である。

③ 最大掘削半径 10,450 mm、最大掘削深さ 6,700 mm、最大掘削高さ 9,900 mm、垂直掘削深さ 6,000 mm と広範囲であるため、あらゆる現場で汎用的かつ効率の高い作業が可能である。